

2026年度 広島大学大学院先進理工系科学研究科

海外インターンシップ教育事業 **海外共同研究** (4D型教育プログラム)

募集要項

## 1. 事業の概要

### (1) 海外インターンシップ教育事業について

言語・文化・慣習等の壁を超えて日本と海外の長所を融合し、グローバル化時代の新たな問題を解決することのできる国際技術者の育成を目的とした教育事業で、2001年度より開始した「ECBOプログラム」と、2006年度より開始した「海外共同研究」の2つから構成されます。

#### 【ECBOプログラム】

毎年約10名の大学院生を、海外に進出している日系企業へ2週間～4週間程度の期間派遣し、インターンシップを実施します。

#### 【海外共同研究】

毎年約10名の大学院生を、広島大学海外交流協定校へ2週間～4週間程度の期間派遣し、共同研究を実施します。

両プログラムとも、現地研修だけでなく、事前研修（英語学習・事例研究）と事後研修（技術移転演習）を組み合わせ実施します。

派遣された学生に対しては、博士課程前期は「インターンシップ」(1単位)、博士課程後期は「自然科学系長期インターンシップ」等(2単位)の単位認定を行います。

ホームページ：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/eng/international/Internship>

### (2) 海外共同研究の目的

国際化の促進並びに国際感覚を持った優秀な学生の育成のため、学生を海外の交流協定校に派遣します。「海外共同研究」に参加することにより、国際環境の中で自己のテーマをさらに広く高い視野から見つめると同時に、相手校との共同研究を実施し自信を深め、グローバルな環境の中で研究のあり方を習得する機会とします。

学生の研修経験をより実効性の高いものとするため、派遣前に英語によるコミュニケーション力向上のための特別指導などにより十分な事前研修を実施します。

現地研修終了後は、現地で得られた成果を踏まえて研究を継続します。

## 2. 応募資格

以下のすべてに該当する者を応募の対象とします。

- ① 先進理工系科学研究科の大学院生であること。
- ② 人格に優れ、心身ともに健全であること。
- ③ 現地研修を遂行するうえで必要な英語能力を有していること。
- ④ 派遣先研究機関の受入要件を満たすこと。

#### 【注意点】

- 外国人留学生の場合は、事前に指導教員を通じてプログラム担当教員に相談してください。
- 「国籍を有する国（母国）への派遣」、「日本国政府国費留学生の派遣」に対しては、本プログラムからの経済的支援（派遣費用補助）は行いません。

## 3. 派遣先ならびに派遣予定人数

以下の海外交流協定校等へ学生を派遣することを予定しています。

派遣先の現地研修テーマについては、担当教員と応募前に相談しておくこと。

## 【研修テーマと派遣人数】

(派遣予定人数 17人)

派遣先	現地研修テーマ	担当教員 (所属プログラム)
マンチェスター大学 (イギリス)	浮体式海洋エネルギーに関する研究	陸田 秀実 (輸送・環境システム)
ベニス大学 (イタリア)	海洋情報モニタリングに関する研究	陸田 秀実 (輸送・環境システム)
ハサヌディン大学・インドネシア 科学技術研究所 BRIN (インドネシア)	船舶流体工学に関わる研究	陸田 秀実 (輸送・環境システム)
調整中	生物模倣に着目した新たな土砂災害対策技術に関する研究	畠 俊郎 (社会基盤環境工学)
釜山国立大学 (韓国)	保険数理モデルに関する研究	岡村 寛之 (情報科学)
インド工科大学ボンベイ校 (インド)	準安定オーステナイト鋼の高速せん断試験と微視構造評価	岩本 剛 (機械工学)
インド工科大学ボンベイ校 (インド)	超音速衝突試験による純鉄の力学特性と微視構造による相転移評価	岩本 剛 (機械工学)
韓国建設技術研究院 (韓国)	水素予混合火炎の消炎特性に関する研究	KIM WOOKYUNG (機械工学)
タイ国立科学技術開発庁 (タイ)	バイオマスに関する研究	松村 幸彦 (機械工学)
ボゴール農科大学 (インドネシア)	バイオマスに関する研究	松村 幸彦 (機械工学)
ソウル大学 (韓国)	バイオマスに関する研究	松村 幸彦 (機械工学)
アルバータ大学 (カナダ)	WAAM 積層造形技術開発	山本 元道 (機械工学)
ウォータールー大学 (カナダ)	ワイヤ DED タイプ AM 積層体評価	山本 元道 (機械工学)
ケベック大学高等工科大学 (ETS) (カナダ)	高温割れメカニズム解明	山本 元道 (機械工学)
マヒドン大学 (タイ)	高品質・高能率アルミニウム合金溶接技術開発	山本 元道 (機械工学)
ラジャマンガラ大学 (タイ)	溶接割れ感受性評価技術開発	山本 元道 (機械工学)
チェンマイ大学 (タイ)	高品質レーザ溶接技術開発	山本 元道 (機械工学)

## 4. 研修内容について

海外交流協定校等で、一定の責任をもちつつ、共同研究を遂行する。

共同研究の内容は、派遣先の教員・指導教員との事前相談を行ったうえで定める。研修生は、事前・事後研修を受け、スムーズなプログラム遂行を図るとともに、成果をより確実なものとする。

区分	課題内容
事前研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本プログラムの趣旨理解と準備教育</li> <li>● 国際環境，研修実施国の国情，経済，市民生活などに関する一般的学習</li> <li>● 共同研究遂行のための事前準備（派遣先の教員・指導教員との事前相談等）</li> <li>● 研究科共通科目「技術移転論」の受講（必修）</li> <li>● 研究科共通科目「MOTとベンチャービジネス論」の受講（要望）</li> <li>● e-learning Newton TLT（完全習熟トレーニング専用プログラム）による</li> <li>● 英語学習（必修。ただし，TOEIC 900点以上は免除）</li> <li>● 海外渡航リスク管理セミナー（オンデマンド）の受講（必修）</li> <li>● 派遣前最終報告会での発表（必修）</li> <li>● その他，必要に応じて求められた課題等</li> </ul>
現地研修	<p>【現地研修の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 派遣先の教員・指導教員との事前相談において決定した研究計画に基づき，共同研究を遂行する。</li> <li>● 現地研修の成果は，中間・最終発表を通じて，派遣先の教員・指導教員の前で報告を行う。</li> </ul> <p>【研修期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2026年8月下旬から9月下旬までの間で2週間（14日）以上。ただし，研修先の都合により変更になることもある。</li> </ul>
事後研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 帰国報告書の提出（必修・帰国後1週間以内）</li> <li>● 最終報告書の提出（必修・帰国後1か月以内）</li> <li>● 現地研修の成果を踏まえた研究の継続</li> <li>● 現地研修後に受験したTOEIC®スコア等の提出（必修） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スコア提出締切：2027年1月29日（金）</li> <li>・ 原則11月実施の学内TOEIC IPテストを受験すること。</li> </ul> </li> <li>● 最終報告会での発表（必修）</li> <li>● その他，必要に応じて求められた課題等</li> </ul>

※ 研修課題については，授業等の開講状況により変更となる場合があります。

## 5. 応募手続について

### (1) 応募申請書類受付期間

2026年4月10日（金）から2026年4月22日（水）まで

### (2) 応募書類提出方法

以下 Microsoft Forms に応募書類をアップロード

<https://forms.office.com/r/j2jehqf1AJ>



- 一度アップロードしたファイルを更新する場合は，ファイル名を更新したことがわかるように変更して，再度アップロードしてください。
- 最後にアップロードされたファイルを審査に使用します。
- 応募締切後に，支援室から申請者の広大メールアドレスあてに申請完了通知メールをお送りします。
- 応募締切日から3営業日以内に申請完了通知が届かない場合は，工学系総括支援室(国際事業担当)あてお問い合わせください。

### (3) 応募書類等

① 応募申請書(所定様式)	ファイル名は「学生番号 氏名 海外共同研究 申請書」ワードファイルで提出。
---------------	---------------------------------------

② TOEIC®スコア証明書(写し)	ファイル名は「学生番号 氏名 TOEIC」 最新の TOEIC®スコア(学部 3 年次以降に取得したスコア 証明書)の PDF 又は画像ファイルを提出。 IP テストも可。
③ 第 1・2 ターム週間スケジュール (所定様式)	ファイル名は「学生番号 氏名 週間スケジュール」 エクセルファイルで提出。

## 6. 派遣学生選考方法について

### (1) 第 1 次選考

応募学生全員に対し、書類審査(志望理由書)を実施し、採点結果に基づき選考します。  
第 1 次選考結果通知日：2026 年 5 月中旬頃  
※応募学生全員に対し、メールにて通知します。

### (2) 最終選考

6 月上旬に実施する「個人面接」と「英語プレゼンテーション」の採点結果に加えて、書類  
審査(志望理由)の採点結果、TOEIC®スコア(合格条件 550 点以上)ならびに事前研修の  
取組状況を考慮して、総合的に選考します。

### (3) 最終選考結果通知

6 月中～下旬に最終選考受験学生全員に対しメールにて通知します。

## 7. 2025 年度 説明会・選考会等実施スケジュール

日 時	項 目
4 月 10 日 (金) 16 : 20 ~ 17 : 00 @工学部大会議室 及び Teams	応募希望者向け説明会：主にプログラム概要や応募の注意事項等の 説明を行います。 ・ Teams は以下リンクまたは右 QR コード <a href="#">応募希望者向け説明会リンク</a>
4 月 10 日 (金) ~ 4 月 22 日 (水)	応募受付期間
4 月 27 日 (月) 16 : 20 ~ 17 : 00 @工学部大会議室	応募学生対象説明会：主に事前研修や最終選考等の説明を行います。
5 月中旬	第 1 次選考結果通知
6 月上旬	最終選考会(個人面接, 英語プレゼンテーション)
6 月中～下旬	最終選考結果通知
6 月下旬～7 月上旬	派遣説明会：最終選考合格者を対象に、派遣にあたっての注意事項や 派遣前最終報告会等についての説明を行います。
7 月中旬	派遣前最終報告会(第一部) ※派遣開始時期が早い学生を対象。
7 月下旬	派遣前最終報告会(第二部)
8 月～9 月	現地研修(2 週間～1 ヶ月程度)
10 月～	事後研修開始
12 月中～下旬	最終報告会

※日程等については、都合により変更となる場合があります。

## 8. リスク管理（傷害保険への加入等）について

応募学生には不測の事態に備え、本学が包括協定を結んでいる東京海上日動火災保険(株)の海外旅行保険への加入を義務づけます。

上記に加えて、海外でも利用可能な携帯電話の持参を義務づけます。

## 9. 経費負担

学生派遣に必要な経費（国内交通費・国際航空運賃・ビザ代・宿泊費・海外旅行保険代等）については、5万円を学生の自己負担とし、残りは本事業（または受入機関）が15万円を上限として負担します。学生の自己負担金額及び本事業の負担金額の合計が20万円を超過した場合は学生本人もしくは研究室の負担となります。

また、本プログラムからの派遣費用補助は「最大35日」までとし、派遣期間が35日を超える場合の宿泊費・現地交通費は、本人または研究室の負担となります。

ただし、外国人留学生による「国籍を有する国（母国）への派遣」、「日本国費留学生の派遣」については、派遣費用は全額を本人または研究室の負担となります。

派遣に必要な経費は先立って支払う必要があります（派遣終了後に支給します）。

なお、現地研修中にかかる食費、交通費などの費用、海外でも利用可能な携帯電話の費用等は自己負担とします。

## 10. その他注意事項

- 派遣先の諸規則、及び受入れ担当者の指示・命令を遵守すること。
- 派遣先の担当者が、正当な理由から研修を続行することができないと判断した場合には、広島大学の担当教員と協議のうえ、研修の中止ならびに途中帰国を指示することがある。
- 現地の治安情勢及び新型コロナウイルス感染症等の状況に十分注意し、責任ある行動を取ること。
- 派遣国・地域等の治安及び感染症の状況等により、派遣先における安全が確保できないと判断した場合には、派遣の中止あるいは途中帰国を指示することがある。
- 本プログラムに関する連絡には広大メール（～@hiroshima-u.ac.jp）を使用しますので、常に広大メールを確認・使用できるようにしておいてください。

## 11. 問い合わせ先

広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授 陸田 秀実

Tel: 082-424-7778

E-mail: mutsuda@hiroshima-u.ac.jp

広島大学工学系総括支援室（国際事業担当）

〒739-8527 広島県東広島市鏡山一丁目4-1

Tel: 082-424-4361, 7503

E-mail: kou-gaku-daigakuin@office.hiroshima-u.ac.jp